

小学校第6学年 B 器械運動 ウ 跳び箱運動

単元の目標	自己の能力に応じて、切り返し系や回転系の基本的な技を安定して行ったり、発展技に取り組んだりすることできるようにする。
知識及び技能	跳び箱運動において、自分の能力に適した課題の解決の仕方を選んだり、我がができるようになるようにする。
思考力、判断力、表現力等	跳び箱運動に積極的に取り組む、約束を守り助け合って運動をしたり、仲間の考えや取組を認めたり、場や器械・器具の安全に気を付けたりすることができるようにする。
学びに向かう力、人間性等	

	1	2	3	4	5	6	7	評価規準
ねらい	今の自分の力を確かめ、本単元のめあてや学習計画を立てることができるようにする。	新しい技（発展技）ができるようになる。			自分の力に適した技を選び、課題解決の仕方を工夫して練習することができるようにする。	跳び箱運動発表会で自分の得意になった跳び方を発表することができるようにする。	【知識・技能】 ① 切り返し系や回転系の基本的な技やその発展技について言ったり書いたりしている。 ② 切り返し系や回転系の基本的な技を安定して行ったり、その発展技を行ったりすることができる。	
導入	準備運動 場づくりと準備運動（感覚づくりの運動：くま歩き、キリン歩き、うさぎ跳び） 共：心と体をほぐすために、全体やグループでコミュニケーションをとりながら準備運動を行う。（全体やグループで補強運動等）							【思考・判断・表現】 ① 自己の能力に適した課題の解決の仕方を工夫している。 ② 自己や仲間のよい動きを見つけたり考えたりしたことなどを他者に伝えている。
展開	自分の力を確かめることができるように、これまでの技について確認する活動を設定する。	技術の確認を行い、自分の力に適した場で動きづくりをする。 共：子どもがポイントやこつを言語化できるように、着手の位置や足の伸ばし方をしっかり行っている子どもにも問いかけ、グループの子ども同士でフィードバックする。	どのようすればモデルのようになるのかを演技者視点の映像等を用いて交流する。 共：（2）動きを高めるための学び合い ・よい動きをしている児童を視察したり、アクションカメラを使った演技者視点の映像を使ったりして、つまづきを改善するためのポイントを紹介したりする。	切り返し系の技で自分の力に適した技を選び、自分の課題とする動きづくりをする。 共：（1）自己の課題に応じて、自分の動きを高めることができる場の設定 ・グループをつくり、動きを見合いながら動きづくりを行う。	回転系の技で自分の力に適した技を選び、自分の課題とする動きづくりをする。 共：（1）自己の課題に応じて、自分の動きを高めることができる場の設定 ・グループをつくり、動きを見合いながら動きづくりを行う。	跳び箱運動発表会の準備をする。 共：学習を通してつくった切り返し系や回転系の技の中から発表する技を選び、グループで、跳び方や関わり方を確認する。	跳び箱運動発表会を行う。 共：（2）動きを高めるための学び合い ・それぞれの動きを見合う活動を行う。	【主体的に学習に取り組む態度】 ① 運動に積極的に取り組む姿勢を示している。 ② 約束を守り助け合って運動をしようとしていたり、仲間の考えや取組を認めようとしていたり、場や器械・器具の安全に気を配っていたりしている。
終末	今後の学習の見通しをもつことができるように、新しいそれぞれの場での動きについて課題を出し合い、大きなめあてをつくる。	交流した動きをヒントに、自分の力に適した場で動きづくりをする。 共：自分の力に応じた課題を解決することができるようにするために、再度個人で技を練習する活動を設定する。	課題解決を通して高まった動きを実感し、次の学習への意欲をもつことができるように、単元のはじめと終わりの動きを基に、跳び箱運動の学習を振り返る。	整理運動、振り返り（授業後アンケート）の記入				

知識・技能	①	②	②	①②	②	②
思考・判断・表現						
主体的に学習に取り組む態度	①					

跳び箱運動の動きを高め、動感の共有化につなげる場の設定と学び合い  
 小学校第6学年 B 器械運動 ウ 跳び箱運動

1 単元の目標

- 自己の能力に応じて、繰り返し系や回転系の基本的な技を安定して行ったり、発展技に取り組んだりすることができる。 【知識及び技能】
- 跳び箱運動において、自分の能力に適した課題の解決の仕方を考えたり、課題に応じた練習の場や段階を選んだり、技ができるようになるための活動を工夫したりすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】
- 跳び箱運動に積極的に取り組み、約束を守り助け合って運動をしたり、仲間の考えや取組を認めたり、場や器械・器具の安全に気を付けたりしようとする。 【学びに向かう力、人間性等】

2 共生を基盤とした授業づくりにおける仕掛け

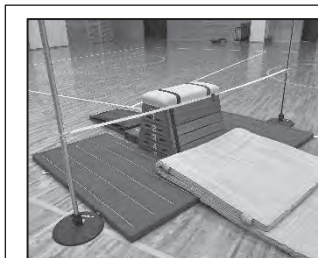
(1) 自己の課題に応じて、自分の動きを高めることができる場の設定

本学習では、基本的な技を安定して行ったり、その発展技であるかかえ込み跳びや伸膝台上前転、頭はね跳び、更なる発展技である屈伸跳び、前方屈腕倒立回転跳びに挑戦したりする。さまざまな技に挑戦し、これを達成したときに楽しさや喜びを味わうことのできるように、様々な場を設定した。かかえ込み跳びの動き



【資料1 ミニハードルの場】

づくりにおいては、3つの融合局面ごとの動きの感じを伝え合うことができるようにするために、3つの融合局面における【資料1】



【資料2 ゴム紐の場】

【資料2】【資料3】の場において、演技者が動きをつくる際に視点となる場所に目印になる印や用具等を配置する【表1】。演技者



【資料3 跳び上がりの場】

がその目印を視覚で捉えているかアクションカメラを用いて確認しながら動きづくりができるようにした。

【表1 3つの場について】

場	課題となる動き	局面 - 目印をつくる場所
ミニハードルの場	○ 予備踏み切りから踏み切りに入る跳躍の連続性。(助走-踏み切りの融合局面) 予備踏み切りから踏み切りまでの距離が長くなり、力強く踏み切ることができる場。	予備踏み切り - ミニハードル 踏み切り - 踏み切り板
ゴム紐の場	○ 踏み切りから着手までの身体の投げ出し(足-腕-足の順次性)。(踏み切り-着手の融合局面) 空中へ体を投げ出す感じをつかんだり、腰角を開く動きをつくったりすることができる場。	踏み切り 着手 - 踏み切り板 - 着手位置
跳び上がりの場 (マット・跳び箱)	○ 膝を胸に引き寄せ跳び箱を跳び越すための腕を支点にした体重移動。(着手-着地の融合局面) 膝を胸に引き寄せる感覚をつくったり、跳び箱上では、前のめりにならないよう、上体を起こしたりする動きをつくったりすることができる場。	着手 着地 - 着手位置 - 前方

## (2) 動きを高めるための学び合い

動感を伝え合いポイントやコツを共有しながら動きを高めることができるために、次の3つの段階に分けて学び合いを行った。

- ① 動きのポイントやコツを共有するために、目標となるモデル動画や動きの連続図を提示し、動きのポイントやコツを共有する活動の設定【資料4】。
- ② 動きや技のできばえを判断し、客観的な視点から動感につながるコツを見つけるために、動きを見合ったり、ICTによる動きの可視化(客観的に)を行ったりし、動きや技のできばえ、動きの感じについて伝え合う活動の設定【資料5】。



【資料4 全体で動きのポイント共有の様子】

- ③ 演技者が体験した主観的な視覚世界を可視化し、動きや技のできばえ、動きの感じを伝え合う活動の設定【資料6】。



【資料5 タブレットの映像で課題共有の様子】



【資料6 自分の動きの感じを伝え合う様子】

これらの学び合いを繰り返し行って

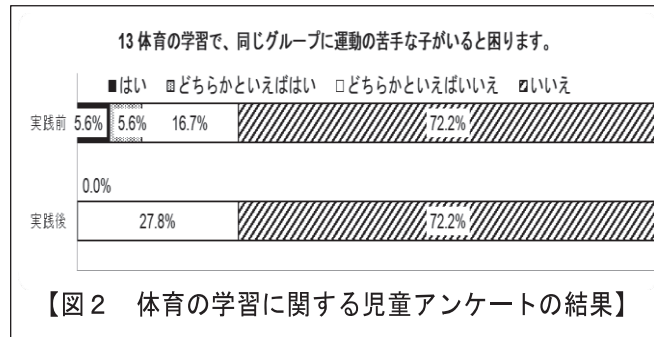
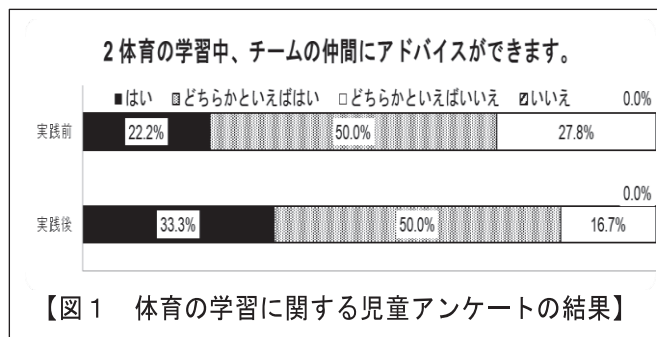
くことで、動きのポイントやコツを「言語化」しながら学習を進めていくことができた。それは、子ども達が自分の動きの課題やできばえを共有する際に、活発に伝え合ったり、動きづくりをしたりする様子につながった。また、単元終末では、私の跳び箱発表会に向け、グループごとに動きづくりを行った。これまでに出示された動きのポイントやコツを基に、それぞれの課題解決に向け意欲的に取り組む姿が見られた。

## 3 成果と課題

### (1) 成果

- 子ども一人ひとりの課題解決に応じて、自分の動きを高めることができる場で動きづくりをしたり、動感を伝え合いポイントやコツを共有したりしながら動きづくりをしていくことで大きく美しい安定した動きができるようになった。
- 単元実施前後に行った「体育の学習に関する児童アンケート(21項目質問紙アンケート)」の「体育の学習中、チームの仲間にアドバイスができます」という項目において、「はい」「どちらかといえばはい」の割合が増えた。また、「体育の学習で、同じグループに運動が苦手な子がいると困ります」という項目において、「どちらかといえばいい」「いいえ」の割合が増えた【図1】【図2】。

これらのことから、場の設定と学び合いを行ったことは、有効に働いたと考える。

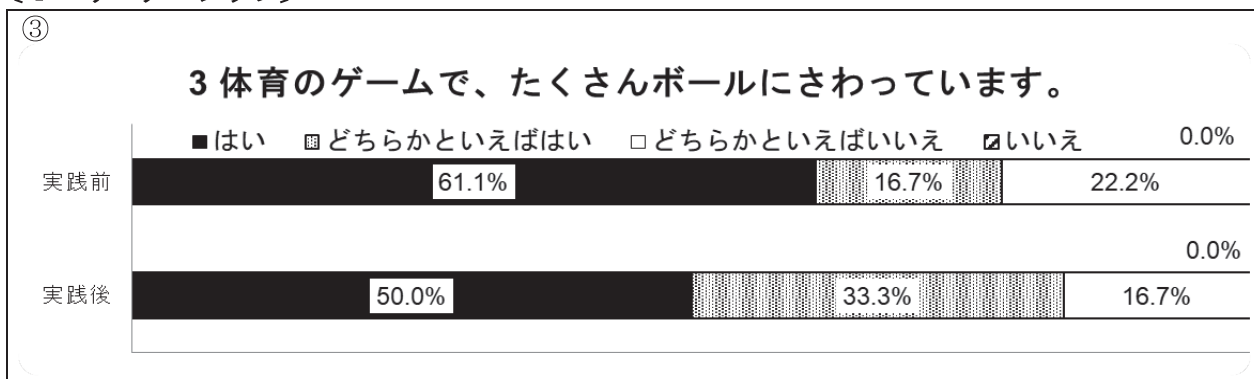


### (2) 課題

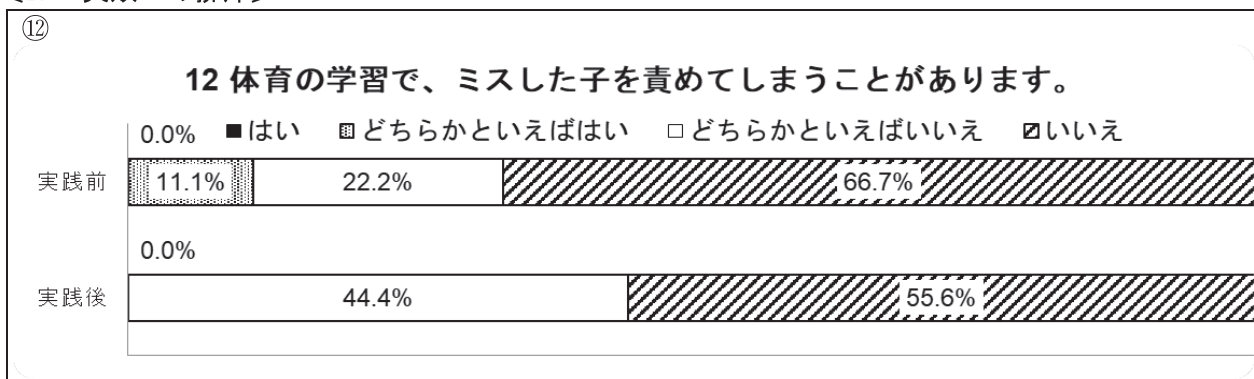
- 1単位時間の中で、どの場面でどのような学び合いを仕組むのか、毎時間同じ場面なのか、活動によって変えていくのかを整理する必要がある。

【児童生徒の変容】

〔I リーダーシップ〕



〔IV 失敗への排斥〕



〔V 過度な勝利志向〕

